

## 建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ウラジオストク総領事館

記入日 平成27年11月13日

### 1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

該当なし

### 2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向

該当なし

### 3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	飯田ホールディングス（飯田HD）が当地ルースキー島で実施を予定しているTOR（先行発展領域）候補案件に参加する可能性がある。夏にはゴルフセンター，冬にはスキーコンプレックスの運営が想定されている。投資額はおよそ3億8000万から4億5000万米ドル。	2015/6/1「ポストーク・メディア」通信
2	複合娯楽ゾーン「プリモーリエ」で、2つ目となるホテル建設の定礎式がカンボジアのナガ・コープ社により行われた。このプロジェクトは3段階に分けられ、第1段階は4200万平方メートルの敷地に巨大なカジノを含むホテルコンプレックスである。	2015/6/23「プリマ・メディア」通信
3	10月12日、連邦法「ウラジオストク自由港」が施行された。対象地域は沿海地方の15の地区及びその周辺海域である。今後、連邦法の施行日から（いくつかの規定を除き）ウラジオストク自由港領域内においてビザ緩和制度、税制優遇措置が実施、行政障壁が撤廃される。また、ウラジオストク自由港の居住企業（レジデント）に対して5年の間の収入税0%措置や、社会税を7.6%（本来であれば30%）にする措置、付加価値税補償までのプロセスが10日間に短縮される措置などが取られる。さらに、商品の保存及び輸出入の際の関税撤廃措置も予定されている。港周辺には無関税区域となる施設が設置され、同施設の中では贅沢品、芸術品及び骨董品の保管及びそれらの客に対する展示等、販売に向けて	2015/10/12「イタルタス」通信

	<p>の活動を行うことが出来る。国境及び税関通過地点では1年後の2016年10月から24時間体制のサービスが開始される。また、国境で直接8日間の期間の査証を受け取ることが可能である。その他、居住企業に対して書類等の審査期間の短縮が保障される予定である。</p>	
4	<p>川崎重工と東方エネルギーシステム社は、極東における新たな発電技術の導入に関する協定（アルチョムとウラジオストクにおける小型ガスタービン熱供給発電施設の建設を検討する）に署名した。</p>	<p>2015/9/4「イタル・タス」通信</p>
5	<p>マツダとソラーズは、輸出市場のためにロシアにおいてエンジンの共同生産を開始する。マツダ、ソラーズ及び産業商務省は、東方経済フォーラムの際に覚書に署名した。新たなエンジン製造工場は、合弁会社「マツダ・ソラーズ」社の敷地内に建設される。</p>	<p>2015/9/4「イタル・タス」通信</p>
6	<p>複合娯楽ゾーン「プリモーリエ」内に、最初のカジノとなる「タイガー・デ・クリスタル」がグランドオープンした。VIP用・一般客用のゲームテーブル、スロットマシン、7つのレストラン及びホテル（計121室）が完備された。</p>	<p>2015/11/12「プリマ・メディア」通信</p>

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

該当なし